

あいち農産物生産流通レポート

令和2年6月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ あいちの伝統野菜「天狗なす」の仕立て方法の確立 (農業総合試験場)	1
・ 愛知県食育推進ボランティアを募集します「食育推進ボランティアとして活動してみませんか」 (食育消費流通課)	2
◎ 地域トピックス	
・ アグリステーションなぐらで全自動五平餅成形機を導入 (新城設楽農林水産事務所)	3
・ 新型コロナに負けない！花き生産者を支援 (東三河農林水産事務所)	4
◎ 東日本情報	
・ 東京都中央卸売市場における冬期を中心としたキャベツの動向 (東京事務所)	5
◎ 西日本情報	
・ 国内在住の外国人を対象とした農業体験バスツアーを開催しました！ (食育消費流通課)	6
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)	20

※今月、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

あいちの伝統野菜「天狗ナス」の仕立て方法の確立

農業総合試験場

あいちの伝統野菜「天狗ナス」は、本県奥三河地域の設楽町津具地区を中心に古くから栽培されています。その特徴は、出荷サイズが一般的なナスの4倍以上（400g以上）の大きさであり、果肉が非常に柔らかいことです。

市場からは、奥三河のブランド野菜として高い評価を得ており、更なる生産量の増加が要望されています。しかし、「天狗ナス」は、果実が重く枝への負荷が大きいため、生産者は主枝に着果した果実のみを収穫しており、収量性が課題となっています。

そこで、収量の向上を目指し、側枝に着果した果実も収穫する仕立て方法（側枝1芽1果切り戻し整枝法）を確立しました。



天狗ナス

1 側枝にも着果させる仕立て方法

「天狗ナス」は、主枝に葉が約8枚つくと最初の花が咲き、その後2枚ごとに花が咲きます。また、それぞれの葉の付け根から発生した側枝でも葉2枚ごとに花が咲きます。

側枝1芽1果切り戻し整枝法における側枝の管理は、以下のとおりです（図1）。

- ①着果を確認後、果実の上の葉を一枚残して切除する。
- ②収穫時に主枝に最も近い葉を一枚残し側枝ごと収穫する。
- ③④残した葉の付け根から側枝が発生するため、着果させ同様の管理を行う。

主枝に近い部分まで切り戻す方法であるため、果実の重みによる側枝の折れを軽減することができます。

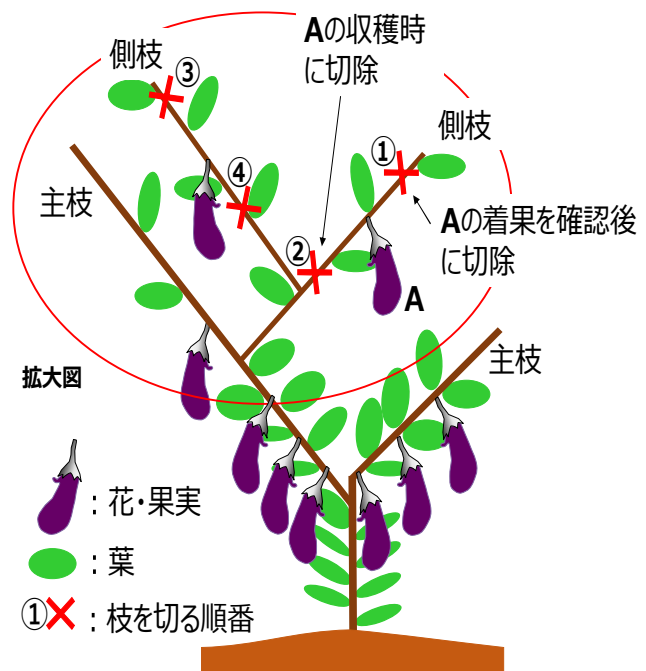


図1 側枝1芽1果切り戻し整枝法

2 側枝への着果による収量性向上

本整枝法は、主枝から収穫できる果実が若干減ります。しかし、側枝から多くの果実を収穫することができるため、慣行より1.5～1.9倍の収量が得られます。

整枝法の改善により、生産量が増えるため販売拡大が期待できます。焼きナスや素揚げ等で、「天狗ナス」のとろっとした食感をぜひ味わってください。

愛知県食育推進ボランティアを募集します 「食育推進ボランティアとして活動してみませんか」

食育消費流通課

食は私たちが生きる上で欠くことのできないものですが、近年、若い世代の食生活の乱れや、野菜摂取量の少なさなど、様々な問題が生じています。

私達が食の大切さを理解し、必要な知識を身につけるための食育は、ライフステージに合わせて、継続的に取り組む必要があります。

愛知県では、県民の方々が望ましい食生活を実践し、生涯にわたって健康に暮らすことができるよう、地域で食育活動を自主的に行っていただく、「愛知県食育推進ボランティア」の登録制度を行っています。

今年度は、6月30日まで食育推進ボランティアを募集します。知識や技術を生かして食育推進ボランティアとして活動していただける方の応募をお待ちしております。

1 活動内容

食育推進ボランティアの皆さんは、それぞれの特技や経験を生かし、多様な分野で活動を行っています。（2020年3月末現在の登録者数：1,004名）

例えば、保育園や幼稚園での食に関する紙芝居や食育劇、エプロンシアター等の上演、小学校での郷土料理の講演、田植えや稲刈り等の農業体験、高齢者向けの料理教室など様々な活動を行っています。



食育劇の様子

2 応募要件

栄養士や調理師、その他に活動に生かすことができる資格や技能等があれば応募できます。詳細は、以下のホームページを参考にしてください。今年度の応募期間は、5月28日（木）から6月30日（火）までです。

食育推進ボランティアに登録されると、登録カードをお送りします。また、年1回、活動状況報告書により活動の報告をお願いしています。

◇「食育推進ボランティア募集」記者発表ページ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shokuiku/r2volunteer.html>

3 食育推進ボランティアの名簿について

愛知県の食育ポータルサイト「食育ネットあいち」には、食育推進ボランティアの名簿が掲載されています。地域にどのような活動をしている方がいるか、どのような活動をしている方が登録しているか等も参考になりますので、ぜひ御覧ください。

アグリステーションなぐらで全自動五平餅成形機を導入

新城設楽農林水産事務所

アグリステーションなぐら（設楽町）では、五平餅の加工に係る労力と経費を削減するため、令和元年度山間地営農等振興事業を活用して、全自動五平餅成形機を導入しました。

1 導入に至る経緯

名倉高原生産組合（以下、組合）が運営する「道の駅アグリステーションなぐら」では、併設された食堂で販売している「エゴマだれ五平餅」が看板メニューです。

この五平餅は加工面で課題がありました。従来、五平餅の成形は電動成形機のプレス型で行っていましたが、その後の串を挿入する作業は1個ずつ手作業で行っており、非常に労力がかかっていました。また、電動成形機は中古品であり、経年劣化に伴う修繕費がかさみ、経営を圧迫していました。



全自動五平餅成形機

2 導入の効果

全自動五平餅成形機の導入前は、1日平均約270本を作業人員3～5名で加工していましたが、導入後はおよそ倍の1日平均約520本の加工が、従来の約半数の作業人員2名で可能となりました。また、1日の作業時間も2時間から1時間に短縮されました。

作業工程は、炊き上がった米をセットすると、自動リフトで機械上部まで持ち上げられ、投入されます。その後、練り機を通し団子が計量され、自動で型入れ及び串付けがされ、最後に成形されます。

全自動五平餅成形機の導入後に、改めてその効果等を組合に取材すると、「業務の効率化及び省力化が図られているので、今後は一層販売力を強化していく」との話でした。

新城設楽農林水産事務所では、今後も管内道の駅を支援していきます。



成形された五平餅

新型コロナに負けない！花き生産者を支援

東三河農林水産事務所

新型コロナウイルスの感染拡大により、愛知県が全国1位の産出額を誇る花きの需要は大幅に減少し、本県における主要産地である東三河地域の花き生産者は大きな影響を受けています。こうした生産者を応援するため、東三河管内の各市、農協、農林水産事務所では様々な取組が行われています。

1 東三河管内の市、農協の取組

豊橋市、豊川市では、市の職員に対して地元の花を使った花束のあっせん販売が行われ、豊橋市では延べ267名、豊川市では延べ519名の参加がありました。

また、田原市では、花束に加えコサージュのあっせんが行われ、市議会本会議最終日には出席者全員の胸元を「田原市産の花」が彩りました。

各農業協同組合では、本店などへ花の展示や、市場と連携し生産者からの花の買い取りの取組などが行われました。



「Enjoy Flower in 東三河」
(2020年5月7日、ポットカーネーション)

2 東三河農林水産事務所の取組

消費が減少している花の消費拡大を図るとともに、暮らしに潤いを与え、花を楽しむことを目的に、「Enjoy Flower in 東三河」と題して東三河県庁構成機関等に勤務する職員に対し東三河地域で生産された花のあっせんを行いました。参加者からは、「花色が多く、華やか」「ボリュームがある」「楽しみにしていた」「またぜひやってほしい」などの感想がありました。また、花の産地や購入後の花の管理について質問があり、花や花を飾ることへの関心の高さがうかがわれました。

1回目：2020年4月30日実施、参加者延べ109人
ガーベラの花束（JA愛知みなみ（田原市））

2回目：2020年5月7日実施、参加者延べ128人
ポットカーネーション（JAあいち経済連（産地：豊橋市、豊川市））



農産物利活用支援事業を活用した花の装飾
(東三河総合庁舎 1階 総合受付)

また、愛知県では県独自の農家支援策として、公共施設での装飾など新たな利活用先に花きを提供する取組を支援する事業（新型コロナウイルス感染症対策農産物利活用支援事業）を創設しました。東三河県庁ではこの事業を活用した花の展示を2020年5月18日から行っています。

今後も、東三河農林水産事務所では、市や関係団体と連携して引き続き花きの消費拡大に向けた取組を実施し、花き生産者をはじめとした農業者への支援に努めていきます。

東京都中央卸売市場における冬期を中心としたキャベツの動向

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

キャベツは本県の代表的な農産物のひとつで、年間を通して東京都中央卸売市場へ出荷されており、まとまった数量が出荷されるのは例年11月から5月までとなっています。

1 入荷数量と競合産地

東京都中央卸売市場へ入荷されるキャベツは年間18万t～20万tにのぼりますが、11月から2月までの期間は1年のなかでは比較の入荷量の少ない時期にあたります。

月別にみると、11月の本県産の入荷量は2,000t～3,500tとなり、全体入荷量に占める割合（以下、シェア）は1～2割で、この月は千葉県産が多く入荷されます。12月になると本県産の入荷量は倍増してシェアは5割前後に高まり、本県に次ぐのは千葉県となります。1月と2月は7,000t以上、3月は10,000t以上が本県から入荷されます。その間の本県産シェアは5割を超えて高い時は7割に達し、本県に次ぐのは、千葉県、神奈川県で、この三県からの入荷が大半を占めます。4月には本県産の入荷量は6,000t～8,000tに減ってシェアは3～4割に低下し、代わりに神奈川県産の入荷量が増えます。5月になると、本県産は多い年で4,000t、少ない年では3,000tを下回る入荷量となってシェアは1～2割に落ち込み、代わりに千葉県からの入荷量が再び増え、神奈川県と本県がそれに次ぐ形となります（図1）。

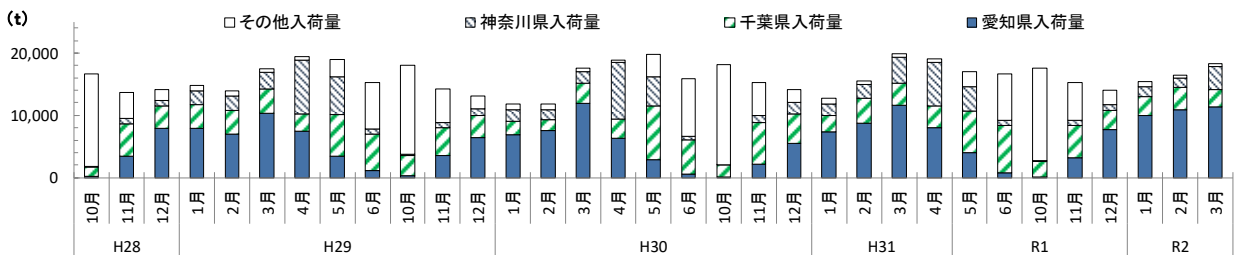


図1 東京都中央卸売市場におけるキャベツの産地別月別入荷量

2 単価の動き

平成21年10月以降を振り返ると、入荷量の大幅減により本県産の単価が200円/kgを超えることがありました。それらは例外としても、年間で単価は上下動し、70円以上の差がみられることが多くあります。

また、本県と千葉県及び神奈川県を比較すると、5月と10月はそれら競合産地より高い一方、3月、4月は競合産地より低い傾向がみられます（図2）。

気象の影響は避けられないものの、春先の品質に注意しながら、期間を通して安定して出荷していくことが年間の収益を確保する点から重要と考えられます。

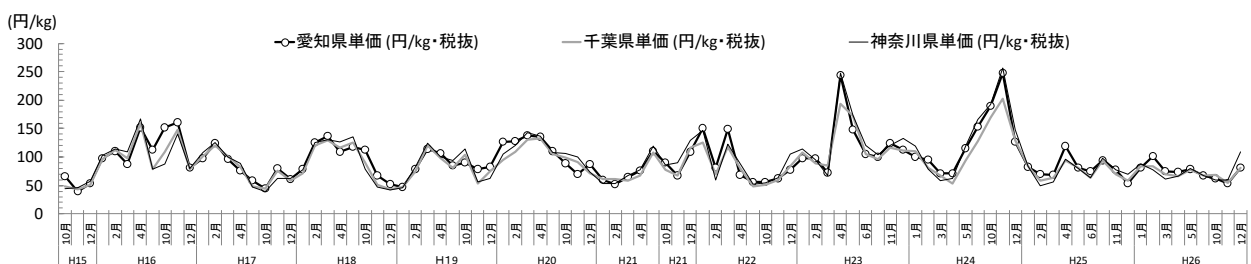


図2 東京都中央卸売市場におけるキャベツの産地別月別単価

注：毎年7月～9月を除く

国内在住の外国人を対象とした農業体験バスツアーを開催しました！

食育消費流通課

近年、日本を訪れる外国人旅行者（インバウンド）の目的として、ショッピングや日本食を食べることに高い関心が寄せられています。昨年度は、国内在住の外国人を対象にしたバスツアーを実施し、参加者によるSNS等での情報発信を通じた県産農林水産物のインバウンド需要の拡大に取り組みました。

1 ツアー概要

表1 ツアー概要

バスツアーは、西三河を巡る第1回と、尾張と知多を巡る第2回の計2回実施しました（表1）。第1回では、額田産そば粉を使ったそば打ち体験を行い、作ったそばはその場で茹でて昼食にしました。また、参加者の母国には「果物

狩り」という文化は無いとのことで、楽しみながら様々な品種のぶどうを味わいました。第2回では、旧酒蔵を利用した酒の文化館で昔ながらの醸造文化を学びました。様々な南国フルーツが楽しめる稲沢フルーツ園では、東南アジア出身の参加者から「まるで母国に帰ったようで嬉しい！」との大絶賛を受けました。

2 実施結果

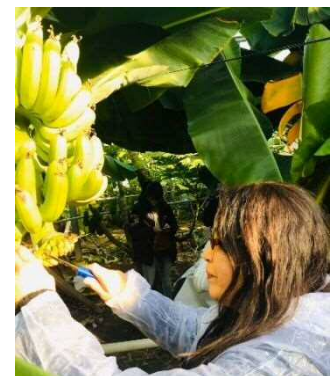
参加者には、バスツアー後に母国語で各自SNSにツアーの感想を投稿してもらい、愛知県の農林水産物の魅力をPRしてもらいました。参加者のSNSへの総投稿数は66件、投稿に対する総「いいね」数は1,443件、総コメント数は228件となり、国内外へ向けて広く情報発信をすることができました。

ツアーを実施した結果、日本人の考える愛知県の魅力とはひと味違う、外国人目線の魅力を知ることができました。今回の実施結果を活かして、さらに多くのインバウンドに県産農林水産物を楽しんでもらえるよう、今後もインバウンド対策支援を行っていきます。

	第1回(西三河地域)	第2回(尾張知多地域)
期日	2019年10月5日	2019年12月8日
参加者	3カ国8名	5カ国15名
訪問先	①男川やな(岡崎市) ・額田産そば粉を使ったそば打ち体験、昼食 ②岡崎駒立ぶどう狩り組合(岡崎市) ・ぶどう狩り ③直産市場おあしすファーム(刈谷市) ・直売所見学、お土産購入	①中埜酒造(半田市) ・酒の文化館見学 ②JAあぐりタウンげんきの郷(大府市) ・ファーマーズマーケット見学、昼食 ③稲沢フルーツ園(稲沢市) ・バナナ収穫体験 ④ピピット! あいち(名古屋市) ・直売所見学、お土産購入



そば打ち体験



バナナ収穫体験

■インバウンド向け愛知県WEBサイト「愛知県は、素材から「美味しい。」」トップページ

<https://www.aichi-food.info/>

□第1回ツアーレポート <https://www.aichi-food.info/tour191005report/>

□第2回ツアーレポート <https://www.aichi-food.info/日-本-語/ツアーレポート2-日本語/>

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：おおば）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	295	276 (94%)	2,745	2,758	大分 (3%) 高知 (2%) 茨城 (1%)
2年見通し	220	—	2,200	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知を中心に入荷する。生育は良好で、品質に問題はない。新型コロナウイルスの影響により飲食店やホテル等での外食需要が低迷している。3月に入ってから価格が下がり入荷量は減少している。年末に向けて需要は徐々に回復すると予想されるが、例年の7割程度になると見込まれる。 入荷量と価格はともに前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>おおばは、例年梅雨明け後に入荷量が減少する傾向にあるが、産地では植え替えをしており、本年は順調な入荷が見込まれる。厳しい販売環境にあり、急な消費回復は難しいと思われるが、生産者の皆さんには頑張ってください。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
元年実績	3,036	294 (10%)	1,001	1,197	佐賀 (73%) 愛知 (10%) 長崎 (6%)
2年見通し	3,000	—	1,000	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>佐賀を中心に愛知、長崎が入荷の大半を占める。前年は前進出荷により6月までの入荷が平年より多く、その反動で7月は平年ほど増加しなかったものの、8月は再び平年より多くなるという波になった。本年は前年と作付面積は大きく変わらない中、現状は入荷量の多かった前年より少ない入荷となっているも、期間の合計では前年並を見込む。入荷の中心は6月下旬から8月上旬で、6月下旬から徐々に入荷は増え始め、7月には平年並の入荷となる見込み。 入荷量、価格ともに前年並を見込む。</p>			<p>品質的に安定しているハウスみかんは、底堅い需要がある。また、中元商戦やお盆の時期を始めとしたギフト・お祝い品としての引き合いも強い。 なかでも愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しいので、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	32,650	251	252	256	242	愛知 21%
	28年	30,484	256	261	262	239	長野 17%
	29年	31,384	243	235	243	239	茨城 10%
	30年	32,350	222	221	213	220	兵庫 5%
	元年	32,300	223	221	222	209	青森 5%
	5ヵ年平均	31,834	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	30,900	235	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、長野、茨城などから入荷する。5月上旬は天候に恵まれ、生育は概ね順調。平年並の入荷を予想する品目が多い。業務需要の低迷により、販売に苦戦する品目もある見込み。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	27年	1,829	78	67	85	90	青森 60%
	28年	1,562	96	86	105	103	北海道 20%
	29年	1,392	110	88	134	117	愛知 14%
	30年	1,410	101	103	109	100	岐阜 2%
	元年	1,574	88	86	104	82	長野 1%
	5ヵ年平均	1,553	94	85	106	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森を中心に愛知、北海道などから入荷する。各産地ともに生育順調。5月の主要産地である愛知は入荷が前進し、終了する見通し。後続産地の青森は暖春の影響で播種が早まり前進傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
にんじん	27年	1,339	196	193	217	177	岐阜 59%
	28年	1,447	151	145	167	148	兵庫 9%
	29年	1,349	143	138	146	148	徳島 7%
	30年	1,771	99	89	103	109	北海道 6%
	元年	1,746	116	105	123	121	青森 4%
	5ヵ年平均	1,531	137	130	147	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,600	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜を中心に、徳島、青森などから入荷する。岐阜は生育順調で前年並の入荷を見込む。徳島は前進傾向で、切り上がりが早まるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

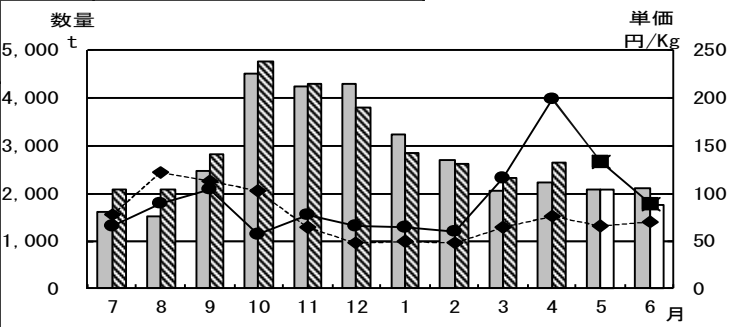
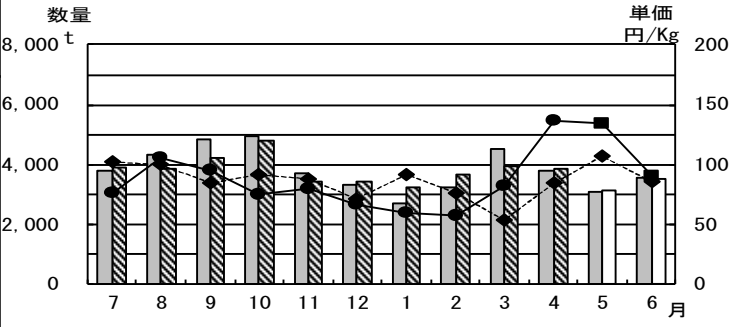
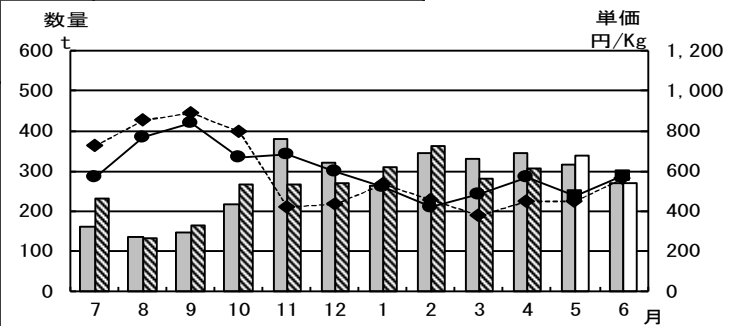
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	131,719	262	252	268	266	千葉 18%
	28年	126,267	259	268	280	259	茨城 15%
	29年	130,803	258	247	270	258	長野 9%
	30年	129,986	235	228	232	243	群馬 8%
	元年	125,077	238	228	245	242	佐賀 5%
	5ヵ年平均	128,770	250	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	124,000	255	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主要品目の中心産地は西南暖地から関東以北の高冷地・東北・北海道に移行する。一部産地・品目に低温や曇雨天の影響による生育遅れがみられていたが、気温の上昇により回復し、順調な出荷となる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
だいこん	27年	8,504	82	68	88	91	青森 53%
	28年	7,878	93	82	106	102	千葉 25%
	29年	8,071	109	81	143	112	北海道 13%
	30年	7,110	101	100	108	95	茨城 3%
	元年	7,266	82	69	101	79	栃木 3%
	5ヵ年平均	7,766	93	80	109	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,100	90	95	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産は前進傾向で産地により切り上がり早まるも、大幅な減量にはならない見込み。後続の青森、北海道でみられた遅れは回復に向かい、中旬に産地が重なり量が増えると、価格の下げとなるか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
にんじん	27年	7,103	170	191	182	143	千葉 80%
	28年	7,490	131	136	136	121	埼玉 5%
	29年	6,941	142	144	143	139	茨城 5%
	30年	6,867	102	103	98	105	北海道 4%
	元年	6,473	123	127	125	117	青森 2%
	5ヵ年平均	6,975	134	141	137	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,400	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉が大半で、そのほか埼玉、茨城などからの入荷となる。生育が遅れ気味も、関東産の出荷は中旬に向けて増え、月内は確保される。北海道は後半から入りだす見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	1,540	118	130	134	98	長野 84%	
	28年	1,663	76	94	96	57	茨城 14%	
	29年	1,614	87	75	99	91	山梨 1%	
	30年	1,714	83	81	83	85		
	元年	2,112	70	67	74	69		
	5ヵ年平均	1,728	85	88	95	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,750	90	100	90	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に茨城からも入荷する。4月は漬物需要が多く、価格が高騰した。5月中旬には落ち着いたものの引き続き高値の予想。茨城は前進出荷で、6月入荷は少ない見通し。長野は平年並の入荷を見込む。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
								
	キヤベツ	27年	4,236	87	95	85	84	茨城 56%
28年		3,529	108	106	122	100	愛知 32%	
29年		3,658	88	83	88	94	長野 6%	
30年		3,704	90	75	100	97	群馬 3%	
元年		3,555	86	100	82	80	秋田 2%	
5ヵ年平均		3,736	92	92	95	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		3,500	90	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知を中心に長野、群馬などからも入荷する。各産地ともに暖冬の影響で前進している。愛知は終盤に入る。今後は長野からの入荷となるが、天候によっては入荷が不安定となる見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
								
ほうれんそう		27年	261	589	574	593	599	岐阜 69%
	28年	248	619	624	618	615	茨城 15%	
	29年	245	642	626	712	615	長野 6%	
	30年	274	575	543	561	629	静岡 5%	
	元年	270	560	518	547	641	愛知 3%	
	5ヵ年平均	259	596	575	604	620	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	270	580	550	580	610		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜の飛騨地域を中心に茨城などから入荷する。岐阜は天候次第で入荷状況が変わるが、5月現在の生育状況は順調で前年並の入荷を見込む。茨城も前年並の入荷となる見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
								

東京都中央卸売市場

5月31日現在

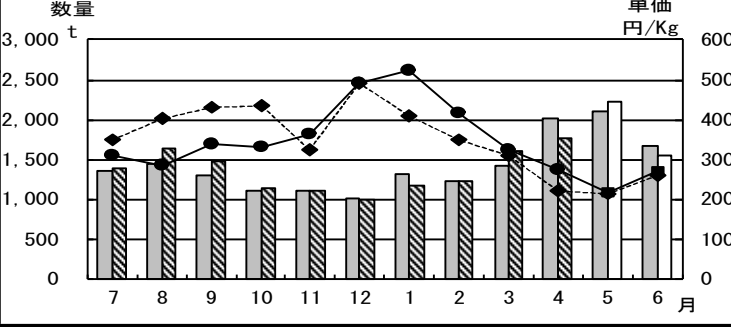
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
は く さ い	27年	5,681	111	96	135	95	長野 52%	
	28年	6,037	72	74	88	55	群馬 23%	
	29年	6,292	72	47	83	85	茨城 23%	
	30年	6,856	73	58	76	82	山梨 1%	
	元年	6,334	57	46	64	62		
	5ヵ年平均	6,240	76	63	88	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	6,200	75	70	75	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>茨城は前進傾向で出荷前倒しとなり、切り上がりが早くなる。後続の長野、群馬は低温等により生育に遅れがみられるも、中旬には量がまとまり始め、下旬になると値を崩すか。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
	キ ャ ベ ツ	27年	16,267	79	76	75	87	千葉 46%
28年		15,278	94	85	106	92	茨城 28%	
29年		15,325	78	74	76	85	群馬 9%	
30年		15,878	80	61	85	92	神奈川 5%	
元年		16,644	76	82	71	73	愛知 5%	
5ヵ年平均		15,878	81	76	82	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		16,000	90	100	85	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>千葉、茨城など関東主要産地から群馬等の高冷地への切り替わり時期となる。これまで遅れのあった千葉は増量するも下旬には終盤となる見込み。他の各産地とも生育は概ね順調で、潤沢な入荷となる見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
ほ う れ ん そ う		27年	1,434	492	508	473	501	群馬 35%
	28年	1,315	478	492	476	468	茨城 27%	
	29年	1,311	490	493	532	446	栃木 17%	
	30年	1,325	467	427	450	525	岩手 8%	
	元年	1,227	450	385	466	512	岐阜 4%	
	5ヵ年平均	1,322	476	463	479	490	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,220	470	465	470	475		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>4月の低温により生育遅延がみられるも、一部産地はその後の気温上昇により回復。病害虫の発生が確認される産地もあるが問題となるほどでなく、梅雨の影響次第であるが、順調な出回りを見込む。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	654	471	480	489	472	大分 25%
	28年	581	498	514	516	495	愛知 22%
	29年	584	446	447	449	447	静岡 13%
	30年	575	444	480	456	408	茨城 11%
	元年	591	429	445	433	413	中国 6%
	5ヵ年平均	597	458	473	469	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	590	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、大分、静岡などから入荷する。愛知は夏ねぎに移行し、順調に入荷する見通し。静岡は白ねぎと夏ねぎが順調で、前年並の入荷を見込む。大分はほぼ終了する。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。							
し	27年	2,219	153	169	156	153	長野 98%
	28年	2,118	144	188	146	133	愛知 1%
	29年	2,201	136	145	151	120	
	30年	2,150	143	157	134	142	
	元年	2,231	124	122	125	124	
	5ヵ年平均	1,844	140	156	142	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,100	133	130	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
長野からほぼ全量を入荷する。新型コロナウイルスの影響で雇用が確保できず、入荷の減少が見込まれたが、新たな雇用を確保できた。生育はやや前進傾向で、順調な入荷を見込む。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
きゅう	27年	1,549	235	193	261	267	愛知 32%
	28年	1,396	275	276	261	293	長野 21%
	29年	1,593	247	236	261	246	群馬 14%
	30年	1,609	270	248	263	300	埼玉 9%
	元年	1,671	259	229	274	279	宮崎 8%
	5ヵ年平均	1,564	257	236	264	277	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,550	270	230	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、群馬などの冬春作、長野などの夏秋作が入荷する。愛知は前進傾向で切り上がり早まる見通し。西南暖地は終盤に入る。今後は関東中心に長野、埼玉からの順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	4,382	468	459	465	480	茨城 56%
	28年	4,184	494	512	488	482	千葉 22%
	29年	4,222	447	423	451	470	中国 5%
	30年	4,433	395	388	401	397	福岡 4%
	元年	4,223	421	427	439	395	埼玉 3%
	5ヵ年平均	4,289	445	441	448	445	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,200	430	430	430	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力の茨城は生育順調で、一部は前進傾向。肥大も良好で順調な出荷を見込む。千葉も生育、肥大ともに良好。梅雨入りにより天候が悪化すると、数量が減り価格上昇の展開もありうる。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ぎ							
し	27年	8,591	152	150	152	154	長野 72%
	28年	8,988	142	180	139	119	群馬 22%
	29年	8,826	132	137	146	115	岩手 3%
	30年	8,527	135	143	123	137	茨城 1%
	元年	7,891	115	114	117	115	千葉 1%
	5ヵ年平均	8,565	136	146	136	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,400	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力産地となる群馬、長野は低温や乾燥により生育に遅れが見られる。大きな影響はないが、一部に出荷遅延の懸念がある。中旬には長野の高冷地の出荷が本格化する見込み。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
タ							
きゅうり	27年	7,760	224	198	242	232	埼玉 26%
	28年	7,324	267	255	250	302	群馬 22%
	29年	7,569	257	250	282	239	福島 14%
	30年	7,120	274	230	267	324	千葉 8%
	元年	6,911	269	230	306	281	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,337	258	232	269	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,800	280	275	280	285	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地から関東・東北各産地への切り替わりの時期となる。埼玉では成り疲れもみられ減量となる懸念があるほか、東北産地では低温による生育遅れがみられる。天候の回復により量は増えてくる見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ウ							

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	27年	1,148	347	353	352	愛知	35%	
	28年	1,030	353	380	368	熊本	32%	
	29年	1,142	331	339	333	宮崎	22%	
	30年	1,021	347	343	355	高知	5%	
	元年	1,076	327	318	342	山梨	2%	
	5ヵ年平均	1,083	341	346	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	1,050	330	330	330			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本、宮崎を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、やや前進傾向にあり、6月の大きな入荷増はない見通し。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
<p>愛知、熊本、宮崎を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、やや前進傾向にあり、6月の大きな入荷増はない見通し。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>								
ト マ ト	27年	1,866	279	266	280	297	熊本	34%
	28年	1,525	297	284	311	299	愛知	30%
	29年	1,700	272	254	252	312	三重	17%
	30年	1,723	226	203	209	265	岐阜	12%
	元年	1,737	213	200	215	229	北海道	2%
	5ヵ年平均	1,710	257	241	252	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,700	216	200	220	230		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に三重、岐阜などから入荷する。4月下旬は気温が低かったが、5月は天候が回復し、冬春作はピークを迎える。岐阜、北海道の夏秋作は潤沢に入荷する見込み。 入荷量は前年よりわずかに下回り、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>						
<p>愛知、熊本を中心に三重、岐阜などから入荷する。4月下旬は気温が低かったが、5月は天候が回復し、冬春作はピークを迎える。岐阜、北海道の夏秋作は潤沢に入荷する見込み。 入荷量は前年よりわずかに下回り、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>								
ミ ニ ト マ ト	27年	495	594	592	583	612	熊本	47%
	28年	473	651	639	692	627	愛知	33%
	29年	565	607	582	607	640	宮崎	7%
	30年	650	494	474	477	534	和歌山	5%
	元年	717	441	413	425	506	北海道	5%
	5ヵ年平均	580	546	527	543	576	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	650	460	500	450	480		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に北海道、和歌山などから入荷する。各産地ともに生育良好で、順調な入荷を見込む。北海道は6月初旬から入荷する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>						
<p>熊本、愛知を中心に北海道、和歌山などから入荷する。各産地ともに生育良好で、順調な入荷を見込む。北海道は6月初旬から入荷する見通し。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	27年	4,859	363	354	370	366	高知 31%
	28年	4,681	400	411	420	366	群馬 18%
	29年	5,485	354	347	375	342	福岡 13%
	30年	4,610	389	368	409	391	茨城 9%
	元年	4,516	378	374	410	353	熊本 7%
	5ヵ年平均	4,830	376	370	396	363	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,400	400	390	400	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、群馬、福岡からの入荷が中心となる。終盤となる高知は日焼け果の発生など品質低下のほか、早期の収穫切り上げがみられる。また、草勢低下や病害虫の発生などにより、平年割れを見込む産地が多い。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ト マ ト	27年	9,608	292	276	299	308	栃木 25%
	28年	9,120	297	281	305	307	熊本 15%
	29年	8,788	306	272	299	356	千葉 11%
	30年	8,385	268	238	249	320	愛知 10%
	元年	8,511	253	220	272	277	茨城 10%
	5ヵ年平均	8,882	284	258	286	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	8,400	260	250	260	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本が終盤を迎え、関東産地を中心に東北、北海道へと切り替わる。栃木は小玉傾向で品質の低下もあるが、今後は肥大の回復を見込む。各産地で病害虫が散見されるも、気温の上昇により生育は概ね順調。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	27年	1,922	556	556	559	554	熊本 34%
	28年	1,837	599	583	636	579	愛知 20%
	29年	2,028	578	545	566	628	茨城 10%
	30年	2,187	469	434	444	533	千葉 10%
	元年	2,323	424	382	431	476	静岡 6%
	5ヵ年平均	2,059	520	493	521	551	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,200	430	410	430	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、関東近郊からの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調。熊本、愛知は終盤に入るも、各産地とも着果は概ね良好で、量は出揃う見込み。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年並となる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

5月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	651	335	341	355	366	茨城 43%
	28年	605	329	315	346	351	高知 28%
	29年	682	295	290	303	333	宮崎 26%
	30年	580	317	283	300	416	北海道 2%
	元年	548	344	316	341	403	
	5ヵ年平均	613	323	309	329	372	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	550	350	300	350	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、高知、宮崎を中心に入荷する。5月中旬時点では入荷量が多く、荷が早い。高知と宮崎は前進傾向で端境期に入り、中下旬から入荷量が減少する見込み。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
ばれいしょ	27年	2,697	223	213	211	253	長崎 68%
	28年	2,224	213	231	216	199	静岡 23%
	29年	2,517	154	146	151	168	熊本 4%
	30年	2,663	72	97	72	55	愛知 3%
	元年	2,143	137	120	142	157	北海道 2%
	5ヵ年平均	2,449	159	161	157	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	2,100	185	180	185	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡、熊本などから入荷する。量販店で順調に売れており、例年以上に高値で推移している。中旬以降に北海道から若干入荷する見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	3,831	115	121	129	96	愛知 51%
	28年	4,132	115	125	107	130	兵庫 32%
	29年	4,527	90	97	90	83	北海道 13%
	30年	4,815	75	84	73	79	熊本 2%
	元年	4,720	76	81	79	71	佐賀 1%
	5ヵ年平均	4,405	93	100	94	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,700	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と兵庫を中心に北海道などから入荷する。愛知は生育順調で、2Lサイズを中心に中旬まで入荷する。兵庫も大玉傾向で徐々に入荷が増える見込み。業務需要が低迷し苦戦しているが、学校給食が再開しても安値の予想。入荷量は平年並で、価格は安値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	2,499	334	349	306	茨城	83%
	28年	2,408	347	347	351	宮崎	6%
	29年	2,610	339	341	355	高知	5%
	30年	2,342	368	350	431	岩手	4%
	元年	2,441	372	377	410	千葉	1%
	5ヵ年平均	2,460	352	334	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	2,400	385	400	380	375	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地は最終盤となり、茨城が大半となる。茨城は害虫の発生がやや目立つも、生育は順調で安定した出荷を見込む。一部産地はピークを過ぎ、量を減らすか。中旬以降は岩手からの入荷が増える。 入荷量は前年並となり、価格は高かった前年をやや上回る見込み。</p>					
白菜	27年	8,138	239	237	272	長崎	57%
	28年	7,694	207	225	182	静岡	17%
	29年	9,043	148	149	146	茨城	7%
	30年	9,497	69	77	68	熊本	7%
	元年	7,621	138	123	140	千葉	6%
	5ヵ年平均	8,399	157	156	156	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	7,500	170	170	170	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長崎を中心に静岡や関東産地などからの入荷となる。長崎は前進出荷により、まとまった量は前半まで。続く静岡は、やや小玉傾向も平年並の量を見込む。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	10,087	130	129	138	佐賀	54%
	28年	8,342	146	143	148	兵庫	13%
	29年	10,441	101	104	99	香川	8%
	30年	12,092	75	80	71	栃木	5%
	元年	11,214	74	73	71	千葉	4%
	5ヵ年平均	10,435	102	102	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	10,000	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、兵庫を中心に、香川や関東産地からの入荷となる。佐賀、兵庫ともに生育前進し、大玉傾向の豊作基調も、佐賀は前年ほどは出ない見込み。上中旬には関東産も出回り、潤沢な見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

※「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

5月18日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	8,677	381	377	371	394	愛知 22%
	28年	7,626	416	409	417	416	フィリピン 17%
	29年	7,774	406	400	400	442	熊本 12%
	30年	7,209	429	399	434	473	ニュージーランド 9%
	元年	6,506	447	438	479	479	青森 8%
	5ヵ年平均	7,558	414	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	6,400	420	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心に、ぶどうなどが増量していく。業務需要の低迷により、上旬までは厳しい販売状況が見込まれるが、中下旬からは父の日や早期の中元ギフトにより徐々に上向いてくると予想される。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。			入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。			
その他メロン (アールスメロン以外)	27年	1,233	307	358	304	271	愛知 35%
	28年	934	310	346	301	289	熊本 33%
	29年	872	323	360	313	311	茨城 15%
	30年	732	299	322	281	312	メキシコ 7%
	元年	750	349	371	349	336	長崎 4%
	5ヵ年平均	904	316	352	309	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	700	300	340	320	290		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、愛知、茨城、メキシコなどから入荷する。上旬は熊本と愛知、中旬は茨城と愛知を中心に入荷する見込み。全体的にやや前進傾向になると予想される。入荷量、価格ともに前年をかなり下回る見込み。			入荷量、価格ともに前年をかなり下回る見込み。			
す	27年	2,403	185	228	187	152	愛知 48%
	28年	2,253	192	229	190	167	熊本 22%
	29年	2,468	188	215	172	175	鳥取 13%
	30年	2,208	190	190	188	193	和歌山 9%
	元年	1,952	228	237	235	214	石川 4%
	5ヵ年平均	2,257	195	219	193	179	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2年見通し	1,950	220	240	220	200		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に鳥取などからも入荷する。天候が不安定なため、着花が悪く、品質低下が懸念される。愛知と鳥取は上旬、新潟は下旬より入荷する見込み。入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。			入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。			

東京都中央卸売市場

5月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
果	27年	30,811	425	434	416	茨城	18%	
	28年	29,889	443	455	430	千葉	15%	
	29年	29,766	432	433	458	熊本	11%	
	30年	28,251	472	485	506	青森	10%	
	元年	25,493	483	495	511	フィリピン	9%	
	5ヵ年平均	28,842	450	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	24,900	490	—	—			
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	すいか、メロンを中心におうとう、ももなどが入荷する。おうとうやももは、4～5月の天候不順の影響で入荷が遅れる見込み。りんごは在庫が少なく、びわも不作傾向等、全体としての入荷も少なくなるか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。							
その他メロン (アールスメロン以外)	27年	5,293	335	424	351	252	茨城	72%
	28年	4,788	375	420	369	336	千葉	10%
	29年	4,441	384	426	383	362	熊本	6%
	30年	4,382	371	376	372	366	メキシコ	5%
	元年	4,038	404	418	415	378	山形	3%
	5ヵ年平均	4,588	372	413	378	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	4,000	360	380	360	340		
すい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	クインシー、アンデスは茨城、タカミは茨城、千葉中心に入荷する。気温が高かったことで前進出荷傾向。また、生育や肥大状況もよいが、作付面積減少もあり全体としては前年並の入荷を見込む。入荷量は前年並となり、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
いか	27年	10,346	194	245	191	154	千葉	38%
	28年	10,462	197	229	194	175	茨城	19%
	29年	10,759	206	239	195	184	熊本	18%
	30年	9,055	214	212	211	217	鳥取	14%
	元年	8,719	246	258	247	233	群馬	4%
	5ヵ年平均	9,868	210	237	208	193	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	8,100	220	230	220	210		
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	大玉は千葉、鳥取、熊本を中心に入荷し、熊本はだらだらした入荷で前年より少ない見込み。千葉は前年の台風で入荷減、鳥取は生育順調。また、小玉は茨城、群馬を中心に入荷する。入荷量は前年をかなり下回り、価格も高かった前年をかなり下回る見込み。							

切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
輪 ぎ	実績	27年	1,789	39	
		28年	1,531	52	
		29年	1,798	38	
ぎ	5ヶ年平均	30年	1,599	42	
		元年	1,471	38	
		2年見通し	1,638	42	
		2年見通し	1,450	35	
く	概要	愛知中心の入荷となる。上旬は若干入荷量は少なくなりそうだが、中旬以降は安定してくる見込み。			
小 ぎ	実績	27年	1,461	21	
		28年	1,400	25	
		29年	1,401	22	
ぎ	5ヶ年平均	30年	1,260	29	
		元年	1,130	19	
		2年見通し	1,330	23	
		2年見通し	1,100	20	
く	概要	沖縄中心からの産地構成も変わり、愛知、奈良、埼玉などからの入荷が中心となる。上旬は入荷量も少なそうだが中旬以降は安定してくる見込み。			
カー ネー シ ョ ン	実績	27年	942	49	
		28年	964	43	
		29年	1,070	41	
ン	5ヶ年平均	30年	1,123	40	
		元年	913	41	
		2年見通し	1,002	43	
		2年見通し	900	40	
く	概要	長野中心の入荷となる。暖地の切り替えも早く、長野のスタンダード品種は前進傾向。スプレーでは品種により、入荷の切れ間がある見込み。			
か す み	実績	27年	127	86	
		28年	130	82	
		29年	105	93	
み	5ヶ年平均	30年	126	89	
		元年	104	82	
		2年見通し	118	87	
		2年見通し	100	80	
う	概要	長野中心の入荷となり、中旬から福島が入荷する予定。暖地の切上がりは早そうだが、そう入荷は多くないが、ブライダル需要が無い為、販売は難しい見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	27年	355	141	
		28年	357	122	
		29年	340	143	
		30年	325	133	
		元年	290	124	
	5ヶ年平均		333	133	
	2年見通し		280	120	
概要	新潟、北海道からの入荷が増加してくる。暖地の出荷は早く切上がりそうではあるが、需要も少なく軟調。				
洋らん	実績	27年	319	99	
		28年	369	77	
		29年	330	89	
		30年	357	76	
		元年	262	83	
	5ヶ年平均		327	84	
	2年見通し		250	80	
概要	鹿児島、愛知、静岡、輸入が入荷する。国内産シンビ等は徐々に入荷が減少し、輸入品に代わる。タイ産デンファレも今から雨季を迎え、入荷も徐々に減少する。				
ばら	実績	27年	897	53	
		28年	860	50	
		29年	838	52	
		30年	700	61	
		元年	677	47	
	5ヶ年平均		794	52	
	2年見通し		650	45	
概要	愛知、岐阜、三重を中心に入荷。緊急事態宣言は解除されたが、ブライダルを中心とするイベント事はまだまだ期待できない状況で、6/2のバラの日や父の日に期待。産地は植え替えを例年より早く対応していく予定。				
枝も	実績	27年	1,375	45	
		28年	1,314	45	
		29年	1,423	46	
		30年	1,337	46	
		元年	1,130	50	
	5ヶ年平均		1,316	46	
	2年見通し		1,400	48	
概要	長野、岐阜中心に入荷する。久留米ケイトウ、エレムレス、クルクマなどの夏の花材中心に、ブルーベリー、フサスグリなどの実物・枝物の入荷が始まる。ドーダン、スモークツリーは安定した販売。梅雨入りすれば山取り物は少なくなっていく。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	27年	22,928	997	
		28年	19,003	1,014	
		29年	18,392	1,017	
		30年	18,915	963	
		元年	18,131	916	
		5か年平均	19,474	981	
	2年見通し	18,000	917		
概要	<p>入荷量は前年並か。作柄に大きな変更は無く、4～6号MIX主体の入荷になる。色別では赤・ピンク主体で、月がら白色の引き合いが強くなる見込み。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(88.2%)、2位長崎(7.4%)、3位徳島(2.1%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	27年	26,347	3,078	
		28年	23,804	3,360	
		29年	23,351	3,474	
		30年	24,258	2,710	
		元年	23,864	3,077	
		5か年平均	24,325	3,136	
	2年見通し	23,800	3,080		
概要	<p>入荷量は減少か。新型コロナウイルスの影響で大輪の出荷は減る見込み。ミディーは昨年並の予想。緊急事態宣言解除により飲食店の開店、株主総会の需要で今月は安定して売れる予想。温度が上がり花シミが出やすい時期のため、出荷の際に一度確認をお願いしたい。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(53.0%)、2位静岡(8.7%)、3位宮崎(7.6%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	27年	26,664	225	
		28年	28,991	160	
		29年	27,758	162	
		30年	20,283	129	
		元年	17,970	120	
		5か年平均	24,333	163	
	2年見通し	17,000	118		
概要	<p>入荷量は前年並か、やや減少する見込み。需要期も一段落して小鉢中心の入荷傾向になる。減産傾向がある中、各種イベント等の中止の影響がどう出るかは不透明。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(44.2%)、2位愛知(23.8%)、3位愛媛(23.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	27年	60,498	478	
		28年	60,623	478	
		29年	72,862	500	
		30年	53,206	524	
		元年	72,955	522	
	5か年平均		64,029	501	
	2年見通し		72,000	528	
概要	<p>入荷量は前年並か。中旬までは潤沢に玉咲きアジサイ中心に入荷が多くなると思われる。近年は花持ちの良いマジカルシリーズの生産が増えているが、ベーシックな青玉・ピンク玉など中心に玉系・額系問わず覆輪タイプの需要も高まっており引き合いも強い。8号以上の大きいサイズも入荷が増える見込み。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（65.9%）、2位群馬（8.7%）、3位埼玉（5.4%）となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	27年	21,235	269	
		28年	7,877	392	
		29年	12,557	291	
		30年	8,058	340	
		元年	10,713	278	
	5か年平均		12,088	300	
	2年見通し		8,500	250	
概要	<p>作付け自体は前年より微減といったところだが、新型コロナウイルスの影響で5号以上が厳しい相場で推移する見込み。影響は入荷量の減少や平均単価に現れる見込みとなる。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（44.1%）、2位三重（42.7%）、3位岐阜（12.9%）となっている。</p>				
ドラセナ	実績	27年	31,934	736	
		28年	25,529	744	
		29年	29,746	655	
		30年	21,231	734	
		元年	20,206	760	
	5か年平均		25,729	722	
	2年見通し		20,000	750	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。原木物の輸入原価が上がっていることに対し、流動価格が上がらないことから、販売数は今後も減少する。8号以上は減少傾向の見込み。 前年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（63.4%）、2位沖縄（10.5%）、3位三重（8.4%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.564
令和2年6月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434